

1 2 組 自立活動学習指導案

場所 12組 指導者 太田 龍次

1 単元名 笑顔いっぱいのクラス ～7つのスキルを身につけよう～(11時間完了)

2 目標

- ・「聴く」「話す」「観る」「理解する」「考える」「気持ちに気付く」「自分を知る」の7つのスキルについて理解することができる。(知識・技能)
- ・インストラクションやモデリングで説明・確認したスキルのポイントを意識して表現する。(思考・判断・表現)
- ・トレーニングの振り返りで、学んだスキルを今後、どのように日常生活で活用していこうとする。(主体的に学習に取り組む態度)

3 『本単元』における学びをたのしむ生徒の姿について

本単元における学ぶたのしさは、今までできなかったことができるようになることと考える。ソーシャルスキルトレーニングは適切に指導・訓練すれば、能力や性格に関係なく、誰にでも効果がある。例えば、「考える」スキルを学ぶことで、大事な場面でのうっかりミスが減ったり、「自分を知る」スキルを学ぶことで、進路決定の際に迷いがなくなったりする。今までできなかったことができるようになることで、子どもたちの自信につながる。学んだスキルを日常生活の中で活用し、状況に合わせた適切な行動をとろうとする生徒の姿を目指す。

4 単元構想

展開	生徒の好奇心を引き出していくための単元構想の工夫 手だて①	学習課題と予想する生徒の姿			学習課題	予想する生徒の姿
出会う	ソーシャルスキルに興味をもてるように、子どもたちに考えさせたり、例を出して説明したりする。ソーシャルスキルを学ぶ必要性に納得することで、目的意識をもって、前向きに授業に臨めるようにする。	友だちとケンカしたとき、どんな行動や声かけをしたらよいか。(1時間)				
		謝るスキル、気持ちを言葉にして伝えるスキル、気持ちに気付くスキルが必要だね。				
		身につくと 友だちと仲よくなれる。ケンカが少なくなるかも。				
		相手を傷つけない、元気にさせる言葉って、どんな言葉かな。(1時間)				
深める	ソーシャルスキルトレーニングをインストラクション(目的を伝える)、モデリング(手本を見せる)、リハーサル(練習する)、フィードバック(振り返る)という4つの工程で構成することで、見通しをもって授業に取り組めるようにする。	「聴く」「話す」「観る」「理解する」「考える」「自分を知る」スキルを身につけよう。(6時間)				
		「聴く」 いっしょうけんめい聴くといいね。 最後まで話を聴くといいかも。	「話す」 話す内容を整理したい。 声の大きさに気をつけたい。	「観る」 表情、話し方、手足の動きを観るといいかも。		
		いつも人の話を聴くときは、このようにしていきたい。	相手によって言葉づかいや、話す内容をかえていきたい。	友だちがいつもと違う感じのときに使おう。		
		「理解する」 事実を先に整理すると、相手の話がわかりやすく理解できるみたいだね。	「考える」 立ち止まって考えることが大切だね。	「自分を知る」 自分もみんなも、それぞれ特徴と個性をもっているね。		
		自分が話すとき、3つのことを意識して話そうと思った。	毎朝、学校に行く前に試してみよう。	将来の進路を考えるときに役に立ちそう。		
		本時 「気持ちに気付く」スキルを身につけよう。(1)				
		気持ちを表す言葉はたくさんありそうだね。気持ちによって身体も変化するんだね。				
		・メンバーに選ばれてうれしい。いい記録を出せるようにがんばるぞ。 ・「えっ、どうして」友達の記録を素直に喜べない。				
		・イライラすると落ち着きがなくなって、眠れなくなる。 ・わくわくすると、興奮するし、笑顔になる。				
		・すごく複雑な感情があることにも気付いた。自分は「イライラ」を出しやすいタイプだと思った。 ・今までイライラして、物や人に当たっていたことがあったけど、これからは自分の気持ちに気付いて落ち着きたい。				
活用する	今までの学びを基に、生活の中で繰り返し練習を行ったり、ソーシャルスキルを使いたくなるような環境を作ったりすることで、スキルの定着を図る。	みんなが笑顔になれる、ふれあいの会を開こう。(2時間)				
		・小学生と話す時は、これまでやってきたスキルを使えるといいね。 ・去年は、こんな遊びで盛り上がっていたね。みんなが楽しめる遊びをしたいね。				
		中学生が先輩としての姿を見せて、みんなが笑顔になれる会をつくろう。				

